

土木分野における木材利用拡大の可能性に関する講習会 ～仮設木橋と地盤改良における事例～



九州橋梁・構造工学研究会（KABSE）は、土木学会西部支部と共催で、財団法人福岡県建設技術情報センターの講習会等助成事業の助成により、以下の講習会を開催いたします。

地球温暖化対策として、国内では木材の積極的な利用が求められています。2010年10月には「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」も施行され、建築分野では官民を挙げた取り組みが進められているところです。土木分野ではその取り組みは進んではいませんが、社会的背景は同じであり、近い将来その利用拡大が求められることになると考えられます。

本講習会では、京都大学名誉教授・建築研究協会の今村祐嗣先生に木材利用の意義に関する特別講演をいただいた上で、「土木分野における木材利用拡大の可能性に関する研究分科会」による実践的な研究成果を報告します。多数のご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

記

主 催 （一社）九州橋梁・構造工学研究会

共 催 （公社）土木学会西部支部

後 援 福岡県 （公社）地盤工学会九州支部 （一社）日本木材学会九州支部

（公社）日本木材加工技術協会九州支部 （一社）建設コンサルタント協会九州支部

（公社）日本技術士会九州本部

日 時 平成25年6月21日（金）14:00～17:00

会 場 電気ビル共創館 B 会議室（福岡市中央区渡辺通 2-1-82）

プログラム

14:00～14:10 開会あいさつ

14:10～15:20 《特別講演》なぜ、いま、土木分野で木材利用なのか

今村祐嗣氏（京都大学名誉教授／建築研究協会）

15:30～16:00 災害被災地をイメージした仮設木橋の設計例 森竹 巧氏（中央コンサルタンツ）

16:00～16:30 地盤改良における木材利用の可能性 福岡 仁氏（朝日テクノ）

16:30～16:50 質疑・討論

16:50～17:00 閉会あいさつ

参加費 2,000 円

継続教育 土木学会 CPD プログラム（2.8 単位）

（この CPD 単位は建設系 CPD 協議会により相互承認されます）

参加申込 参加者氏名、所属、連絡先を KABSE 事務局までお知らせください。先着 108 名で受け付けます。締め切りは 6 月 14 日です。これ以降も空席があれば参加できます。事務局にお問い合わせください。

問い合わせ先 812-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1 サンセルコビル 6F（株）長大 福岡支社内

九州橋梁・構造工学研究会事務局 Tel/Fax 092-737-8570

詳しい情報は → <http://tbl.tec.fukuoka-u.ac.jp/kabse-wood/>

